

熊本市教員採用試験

令和7年度(2024年実施)

教職教養

1 次の(1)～(6)の文は、法令の条文の一部である。それぞれに該当する法令を、下の①～⑨からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。

(1) すべて公務員は、全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない。

(2) 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

(3) 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の校長、園長、教員、事務職員、技術職員その他の職員は、この法律に特別の定めがある場合を除き、教育委員会が任命する。

(5) 良識ある公民として必要な政治的教養は、教育上尊重されなければならない。

(6) 経済的理由によつて、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。

① 日本国憲法

② 教育基本法

③ 学校教育法

④ 学校教育法施行令

⑤ 学校教育法施行規則

⑥ 学校保健安全法

⑦ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

⑧ 地方公務員法

⑨ 教育公務員特例法

2 次の(1)～(4)の文は、法令の条文の一部である。それぞれの()に当てはまる語句を、下の①～⑤からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。

(1) いじめの防止等のための対策は、いじめが全ての児童等に関係する問題であることに鑑み、児童等が()学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。

(いじめ防止対策推進法 第3条)

- ① 集中して ② 意欲的に ③ 積極的に ④ 楽しく ⑤ 安心して

(2) 全ての子どもについて、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され保護されること、その健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉に係る権利が等しく保障されるとき、教育基本法(平成十八年法律第二十号)の精神にのっとり()が等しく与えられること。

(子ども基本法 第3条2号)

- ① 就学する機会 ② 学習をする機会
③ 安心した学校生活を送る機会 ④ 個に応じた指導を受ける機会
⑤ 教育を受ける機会

(3) 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その()のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。

(地方公務員法 第35条)

- ① 専門性及び指導能力 ② 知識及び技能
③ 集中力及び資質能力 ④ 勤務時間及び職務上の注意力
⑤ 社会性及び規範意識

(4) 公立の小学校等の教諭等の研修実施者は、当該教諭等(臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。)に対して、その採用(現に教諭等の職以外の職に任命されている者を教諭等の職に任命する場合を含む。)の日から一年間の教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項に関する()研修(次項において「初任者研修」という。)を実施しなければならない。

(教育公務員特例法 第23条)

- ① 理論的な ② 実践的な ③ 基本的な ④ 発展的な ⑤ 基礎的な

3 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) 次のア～オは、これまでの学習指導要領の変遷について、文部科学省が示したものである。告示された年代順に正しく並べられているものを、下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

ア ゆとりある充実した学校生活の実現＝学習負担の適正化

イ 「生きる力」の育成，基礎的・基本的な知識・技能の習得，思考力・判断力・表現力等の育成のバランス
(小学校外国語活動の導入)

ウ 社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成(生活科の新設)

エ 基礎・基本を確実に身に付けさせ，自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成
(「総合的な学習の時間」の新設)

オ 「生きる力」の育成を目指し資質・能力を三つの柱(※)で整理，社会に開かれた教育課程の実現
※「知識及び技能」，「思考力，判断力，表現力等」，「学びに向かう力，人間性等」

- ① ア→イ→エ→オ→ウ
- ② イ→ア→オ→ウ→エ
- ③ イ→エ→ア→ウ→オ
- ④ ア→ウ→エ→イ→オ
- ⑤ イ→ア→ウ→オ→エ

(2) 次の教授理論を提唱した人物として正しいものを，下の①～⑤から一つ選び，番号で答えなさい。

「問い」によって「答え」を求め，その一連の過程を通して「無知の自覚」へと導く問答法を提唱した。

- ① ソクラテス
- ② プラトン
- ③ キケロ
- ④ アリストテレス
- ⑤ クインティリアヌス

4 次の(1),(2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「生徒指導提要」(令和4年12月 文部科学省)の「第1部 第1章 1.3.1 児童生徒理解」の一部である。(ア)～(エ)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

児童生徒理解においては、児童生徒を心理面のみならず、学習面、社会面、健康面、進路面、家庭面から(ア)に理解していくことが重要です。また、学級・ホームルーム担任の日頃のきめ細かい観察力が、指導・援助の成否を大きく左右します。また、学年担当、教科担任、部活動等の顧問等による(イ)な広い視野からの児童生徒理解に加えて、養護教諭、SC、SSWの専門的な立場からの児童生徒理解を行うことが大切です。この他、生活実態調査、いじめアンケート調査等の調査データに基づく(ウ)な理解も有効です。特に、教育相談では、児童生徒の声を、受容・傾聴し、相手の立場に寄り添って理解しようとする(エ)理解が重要になります。

	ア	イ	ウ	エ
①	客観的	総合的	共感的	複眼的
②	総合的	複眼的	客観的	共感的
③	複眼的	共感的	客観的	総合的
④	複眼的	客観的	総合的	共感的
⑤	総合的	複眼的	共感的	客観的

(2) 次の文は、「生徒指導提要」(令和4年12月 文部科学省)の「第1部 第1章 1.2.2 発達支持的生徒指導」の一部である。(ア)～(エ)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

発達支持的生徒指導では、日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、及び、授業や行事等を通じた個と集団への働きかけが大切になります。例えば、自己理解力や(ア)、コミュニケーション力、他者理解力、思いやり、共感性、人間関係形成力、協働性、目標達成力、課題解決力などを含む社会的資質・能力の育成や、自己の将来をデザインするキャリア教育など、教員だけではなく(イ)等の協力も得ながら、(ウ)社会の一員となるための市民性教育・(エ)教育等の推進などの日常的な教育活動を通して、全ての児童生徒の発達を支える働きかけを行います。

	ア	イ	ウ	エ
①	自己効力感	スクールカウンセラー	共生	人権
②	自己効力感	スクールカウンセラー	持続可能な	人権
③	自尊感情	スクールカウンセラー	持続可能な	情報
④	自己効力感	地域の人々	持続可能な	情報
⑤	自尊感情	地域の人々	共生	情報

5 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「教育の情報化に関する手引(追補版)」(令和2年6月 文部科学省)の「第1章 社会的背景の変化と教育の情報化 第1節 社会における情報化の急速な進展と教育の情報化」の一部である。

(ア)～(ウ)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

「教育の情報化」とは、情報通信技術の、時間的・空間的制約を超える、双方向性を有する、カスタマイズを容易にするといった特長を生かして、教育の質の向上を目指すものであり、具体的には次の3つの側面から構成され、これらを通して教育の質の向上を図るものである。

- ① 情報教育：子供たちの(ア)の育成
- ② 教科指導におけるICT活用：ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる(イ)の実現等
- ③ 校務の情報化：教職員がICTを活用した情報共有によりきめ細やかな指導を行うことや、(ウ)等

ア	イ	ウ
① 情報活用能力	個別最適化	教員の長時間勤務の解消
② 情報モラル	個別最適化	校務の負担軽減
③ 情報活用能力	授業	校務の負担軽減
④ 情報モラル	個別最適化	校務の効率化
⑤ 情報活用能力	授業	教員の長時間勤務の解消

(2) 次の文は、「教育の情報化に関する手引(追補版)」(令和2年6月 文部科学省)の「第3章 第1節 2. プログラミング教育の充実」の一部である。(ア)～(ウ)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

(小学校)

- ・ 総則において、各教科等の特質に応じて、「プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な(ア)を身に付けるための学習活動」を計画的に実施することを新たに明記
- ・ 算数、理科、総合的な学習の時間において、プログラミングを行う学習場면을例示

(中学校)

- ・ 技術・家庭科技術分野において、プログラミングに関する内容を充実(「計測・制御のプログラミング」に加え、「ネットワークを利用した(イ)コンテンツのプログラミング」について学ぶ)

(高等学校)

- ・ 全ての生徒が必ず履修する科目(共通必修科目)「情報Ⅰ」を新設し、全ての生徒が、プログラミングのほか、ネットワーク(情報セキュリティを含む)や(ウ)の基礎等について学ぶ
- ・ 「情報Ⅱ」(選択科目)では、プログラミング等について更に発展的に学ぶ

	ア	イ	ウ
①	論理的思考力	Q & A方式の	オペレーションシステム
②	情報活用能力	双方向性のある	データベース
③	情報活用能力	双方向性のある	オペレーションシステム
④	論理的思考力	双方向性のある	データベース
⑤	情報活用能力	Q & A方式の	オペレーションシステム

6 次のア～オは、学習や発達について述べたものである。適切な内容のもの組合せを、下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

ア 子どもの仲間集団の質は発達にしたがって変化する。例えば、学童期中期から後期に見られるのがピアグループである。これは同性のメンバーで構成されることが多く、排他性や閉鎖性が強い仲間集団であり、この集団の中でのやり取りを通じて、社会的スキルを身につけることができると考えられている。

イ ピアジェは、認知の発達段階についての理論を構築したが、認知の発達段階に伴って遊びの内容も変化すると考えた。ピアジェは2～7歳頃の前操作期には、見立てや想像を伴う「象徴的遊び」が見られるようになるとした。幼児期には、ごっこ遊びがさかんに見られるようになるが、これは象徴的遊びの代表例である。

ウ PM理論とは三隅二不二が提唱したリーダーシップ理論である。この理論では、リーダーシップを集団を維持しまとめる機能に関するP行動と集団における目標達成機能に関するM行動に分類し、さらに両行動を基準にしながら、リーダーをPM型、P型、M型、pm型の四つのタイプに分類する考えである。

エ デューイは、教育の過程は成長の過程であるとし、「生活即教育」の経験主義的教育論を展開した。そして、その考えに沿って、自らの生活経験の中から問題を発見し、実践的に解決していく過程を通して問題解決能力を習得する学習方法である「問題解決学習」を提案した。

オ キャッテルは、一般知能因子の下位分類として、結晶性知能と流動性知能の2つの知能を想定した。結晶性知能とは推理を使って新奇な課題を解決する能力であり、成人期以降は減退すると考えられている。流動性知能とは教育や文化的背景に大きく依存する知識・経験に基づく能力であり、成人後も成長が続くと考えられている。

- ① ア・ウ ② ア・エ ③ イ・ウ ④ イ・エ ⑤ ウ・オ

7 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「児童虐待の防止等に関する法律」(平成12年法律第82号)で「児童虐待」として示された行為である。(ア)～(エ)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

- 一 児童の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある(ア)を加えること。
- 二 児童に(イ)行為をすること又は児童をして(イ)行為をさせること。
- 三 児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の(ウ)、保護者以外の同居人による前二号又は次号に掲げる行為と同様の行為の(ウ)その他の保護者としての監護を著しく怠ること。
- 四 児童に対する著しい暴言又は著しく(エ)な対応、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力(配偶者(婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。)の身体に対する不法な攻撃であって生命又は身体に危害を及ぼすもの及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動をいう。)その他の児童に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

	ア	イ	ウ	エ
①	暴行	意思に反する	身体的拘束	排他的
②	暴行	わいせつな	放置	拒絶的
③	暴力	意思に反する	身体的拘束	拒絶的
④	暴力	わいせつな	放置	排他的
⑤	暴行	意思に反する	身体的拘束	拒絶的

(2) 「児童虐待の防止等に関する法律」の内容として正しいものを、①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① この法律において、保護者の監護する児童とは小学校就学までの者をいう。
- ② この法律において、保護者の監護する児童とは十二歳に満たない者をいう。
- ③ この法律において、保護者の監護する児童とは十六歳に満たない者をいう。
- ④ この法律において、保護者の監護する児童とは十八歳に満たない者をいう。
- ⑤ この法律において、保護者の監護する児童とは二十歳に満たない者をいう。

8 次の文は、「教育都市くまもとの教職員像」の一部である。(ア)、(イ)に当てはまる語句として正しいものを、下の①～⑦からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。

1 いつの時代も求められる資質や能力

- (1) 豊かな人間性を持ち、(ア)にすぐれた教職員
- (2) 教育者としての強い(イ)と誇り、高い倫理観をもった教職員
- (3) 教育的愛情を持ち、子どもたちから信頼される教職員
- (4) 幅広い教養と専門的な知識に基づく実践的指導力をもった教職員

- ① 使命感 ② コミュニケーション能力 ③ 責任感
- ④ 社会性 ⑤ 協働する力 ⑥ 人権感覚
- ⑦ 郷土愛

9 次の文は、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕(平成20年3月 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議)」の「指導等の在り方編 第2章 第2節 3. 指導方法の在り方 1. 『協力的な学習』」の一部である。(ア)、(イ)に当てはまる語句を、それぞれ下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

児童生徒が自分自身と学級集団の全員にとって有益となるような結果を求めて、協力しつつ共同で進める学習である。こうした協力的な学習は、生産的・建設的に活動する能力を促進させ、結果として学力の向上にも影響を与える。さらに、配慮的、支持的で(ア)に満ちた人間関係を助長し、精神面・心理面での成長を促し、社会的技能や(イ)を培う。

(ア)

- ① 責任感 ② 充足感 ③ 安心感 ④ 自己肯定感
- ⑤ 達成感

(イ)

- ① 自主性 ② 自意識 ③ 自尊感情 ④ 自他の認識
- ⑤ 自立心

10 次の文は、「児童の権利に関する条約」の一部である。(ア), (イ)に当てはまる語句を, それぞれ下の①~⑤から一つ選び, 番号で答えなさい。

第12条

1 締約国は, 自己の(ア)を形成する能力のある児童がその児童に影響を及ぼす事すべての事項について自由に自己の(ア)を表明する権利を確保する。この場合において, 児童の(ア)は, その児童の年齢及び成熟度に従って相応に考慮されるものとする。

第18条

1 締約国は, 児童の養育及び発達について父母が共同の責任を有するという原則についての認識を確保するために最善の努力を払う。父母又は場合により法定保護者は, 児童の養育及び発達についての第一義的な責任を有する。児童の(イ)は, これらの者の基本的な関心事項となるものとする。

(ア)

- ① 権利 ② 良心 ③ 信念 ④ 尊厳 ⑤ 意見

(イ)

- ① 心身の健康 ② 教育を受ける機会 ③ 家庭環境
④ 最善の利益 ⑤ 自由の保護

11 次の文は、「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編」の「第3章 第4節 2 特別な配慮を必要とする児童への指導」の一部である。(ア), (イ)に当てはまる語句を, 下の①~⑦からそれぞれ一つ選び, 番号で答えなさい。

ア 不登校児童については, 保護者や関係機関と連携を図り, 心理や福祉の専門家の助言又は援助を得ながら, (ア)を目指す観点から, 個々の児童の(イ)に応じた情報の提供その他の必要な支援を行うものとする。

- ① 教育機会の確保 ② 信頼関係の構築 ③ 問題行動 ④ 取り巻く環境
⑤ 発達 ⑥ 社会的自立 ⑦ 実態

12 次の文は、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成24年7月 中央教育審議会初等中等教育分科会）の「3. 障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる環境整備」の一部である。（ア）、（イ）に当てはまる語句を、下の①～⑦からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。

本報告における「合理的配慮」とは、「障害のある子どもが、他の子どもと平等に「（ア）」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要とされるもの」であり、「学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は（イ）を課さないもの」と定義した。なお、障害者の権利に関する条約において、「合理的配慮」の否定は、障害を理由とする差別に含まれるとされていることに留意する必要がある。

- ① 教育を受ける権利 ② 教育相談 ③ 基本的自由 ④ 制限
⑤ 過度の負担 ⑥ 医療的ケア ⑦ 通級による指導

kyosai-guild.jp

解答番号	正答	解答番号	正答	解答番号	正答
1	1	21	1	41	
2	6	22	1	42	
3	9	23	3	43	
4	7	24	5	44	
5	2	25	4	45	
6	3	26	6	46	
7	5	27	7	47	
8	5	28	1	48	
9	4	29	5	49	
10	2	30		50	
11	4	31		51	
12	1	32		52	
13	2	33		53	
14	1	34		54	
15	3	35		55	
16	4	36		56	
17	4	37		57	
18	2	38		58	
19	4	39		59	
20	6	40		60	

※配点1問1点（解答番号が太文字の問題は2点）